

WACOH

ecoウルトラパワーライ WL212/214WL-9

投光機 (台車式)

取扱説明書



ご使用前に、この説明書をよくお読みいただき正しくお使いください。
本書はお読みになった後も大切に保管してください。

 **和光機械工業株式会社**

<http://www.wacoh.ne.jp>

H 27. 12.11作成

<はじめに>

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本機を末長くご愛用いただけますように、この取扱説明書を熟読の上

ご使用くださいますようお願い申し上げます。。

なお、発電機におきましては、別紙の発電機用取扱説明書をお読みください。

また、品質向上に絶えず努力をしております。

従いまして製品改良のために仕様などを予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

<目次>

	ページ
はじめに	1
1. 安全にお使いいただくために	2~3
2. 仕様諸元	4
3. 外形寸法図	5
4. 各部の名称	6
5. 組立て手順	7~8
6. 設置及び運転	9~13
7. よくある質問と、その対応	14

1. 安全にお使いいただくために

安全に効率よくお使い頂くために、ご使用前にこの取扱説明書

及び安全に関する注意事項をよくお読みください。


使用上の注意事項、本機の性能、使用方法など十分にご理解の上


正しく安全にご使用ください。


※ 尚、発電機につきましては、発電機に付属の取扱説明書をよくお読みください。

1) 安全に関する表示について

本書では、運転者や他人の人が障害を負ったりする可能性のある事項を下記の表示を使って記載し、その危険性や回避方法を説明しています。これらは安全上特に重要な項目なので必ずお読みいただき指示に従ってください。

 **危険** 指示に従わないと、死亡又は重大な障害に至るもの

 **警告** 指示に従わないと、死亡又は重大な障害に至る可能性があるもの

 **注意** 指示に従わないと、障害を受ける可能性があるもの

2) 運転および運転上の注意

(1) 設 置

- ① 本機は平坦な場所でご使用ください。
約5度以上傾斜している所では使用しないでください。
- ② 転倒防止のため、必ずブレーキをかけてからご使用ください。
又、アウトリガーは必ずセットしてください。
発電機が搭載されていない場合は、発電機相当分の重石を載せてください。
- ③ 雨、風（平均風速10m/s以上）等の天候でのご使用は避けてください。

※ 例：大枝が動く、電線が鳴る、傘がさしにくい状態
- ④ 灯光機は防水型ではありません。雨や雪の中、水しぶきのかかるような場所に置いたり、操作しないでください。

(2) 点 灯 時

- ① 投光機を濡れた状態で操作すると、漏電などの故障になるばかりでなく操作の際に感電するおそれがあるので、絶対にしないでください。

1. 安全にお使い頂くために

- ② 作動中は電源プラグ端子に触れないでください。
感電のおそれがあります。
- ③ 照射方向は、発電機側にしてください。

(3) 移 動

- ① 移動時はマストを下げ、投光器具を固定して移動してください。
※ 各可動部は移動中、動かない様にしてください。
ウインチのブレーキが効きませんのでご注意ください。

(4) 運 搬

- ① 運搬するときは投光器具を折り倒し低くしてください。
- ② 破損防止のため運搬するときは、確実に固定してください。

(5) ラ ン プ

- ① 必ず指定のランプを使用してください。適合ランプ（MF400LSH/U）は点灯方向に規制はありませんが、取扱いはご注意願います。
- ② 点灯中及び点灯直後のランプ及び投光器具は高温ですので、火傷をする恐れがあります。

3) その他の注意事項

警 告

過労・飲酒時操作禁止

過労や睡眠不足などで体調が悪いときや、飲酒時・薬服用時は、注意力が散漫になり、事故につながるため、操作はしないでください。

きちんとした服装・保護具の着用

使用の際は装飾品など機械部品にひっかかる可能性のあるもの、また油などの付着した作業着は引火しやすいので着用してはいけません。
作業によりヘルメット・保護めがね・安全靴・マスク・手袋などを忘れずに着用してください。

改造はしないでください

弊社の承認の無い改造は、安全上問題になることがあります。
許可の無い改造に起因する、人身事故や故障については責任を負いかねます。

注 意

高温注意

点灯中は投光器具が高温になるため、照明器具などに触れないでください。

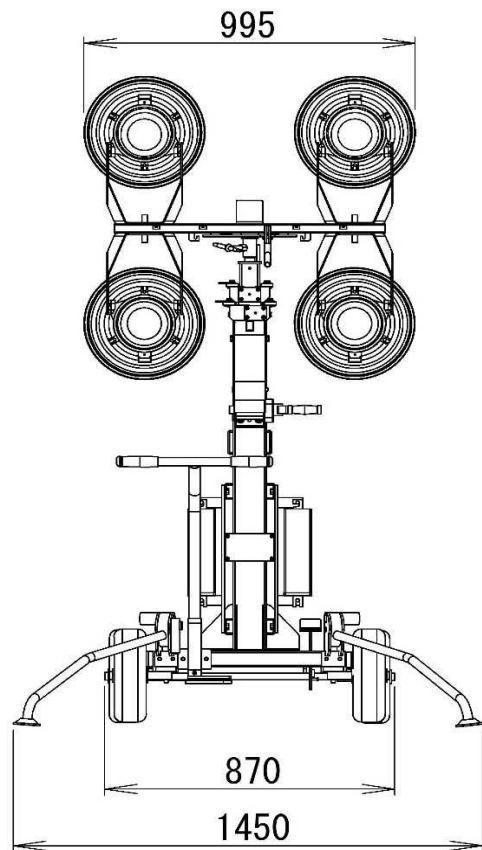
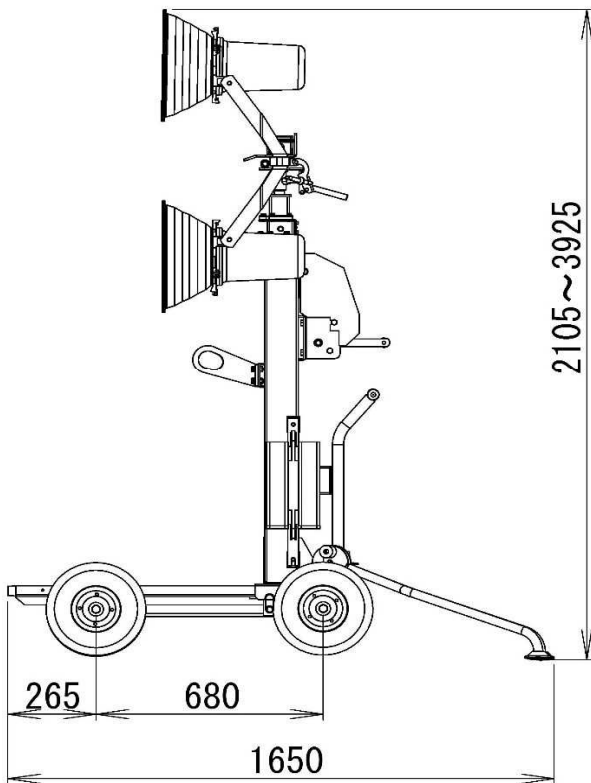
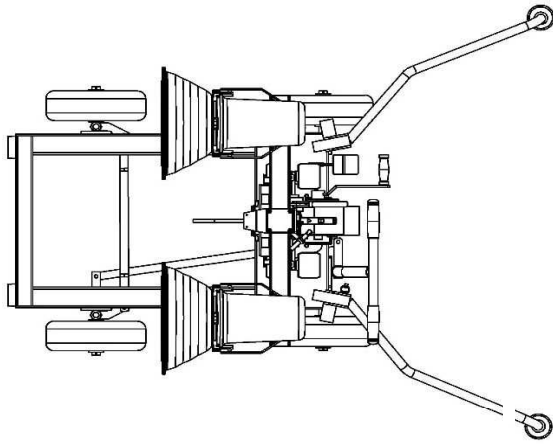
2. 仕様諸元

型式	WL212WL-9	WL214WL-9
安定器 周波数 (Hz)	50/60	
安定器 電圧 (V)	AC 94~106 / 188~256	
電流 (A)	4.1	8.2
ランプ	420W(210W x 2)	840W(210W x 4)
定格ランプ寿命 (寿命)	60,000	
全光束 (Lm)	48,000(24,000lm x 2)	96,000(24,000lm x 4)
マスト操作	手動減速ウインチ	
マスト形式	伸縮式3段	
マスト最大高 (mm)	3,925	
寸法 L×W×H(mm)	1,650 x 1,450 x 2,105	
収納時寸法 L×W×H(mm)	1,100 x 995 x 1,710	1,250 x 995 x 1,710
重量 (Kg) 発電機を除く	117	147
走行装置	T字ハンドルによる前車輪操舵・ブレーキ付 空気タイヤ使用	
車輪 (直径mm×個)	φ300 (空気入り) ×4	
外輪最小回転半径 (mm)	2,500	
アウトリガー		標準装備
ランプ旋回機構	標準装備 (旋回角度: 305°)	
投光器具角度調整レバー	標準装備	
マスト落下防止装置	標準装備	

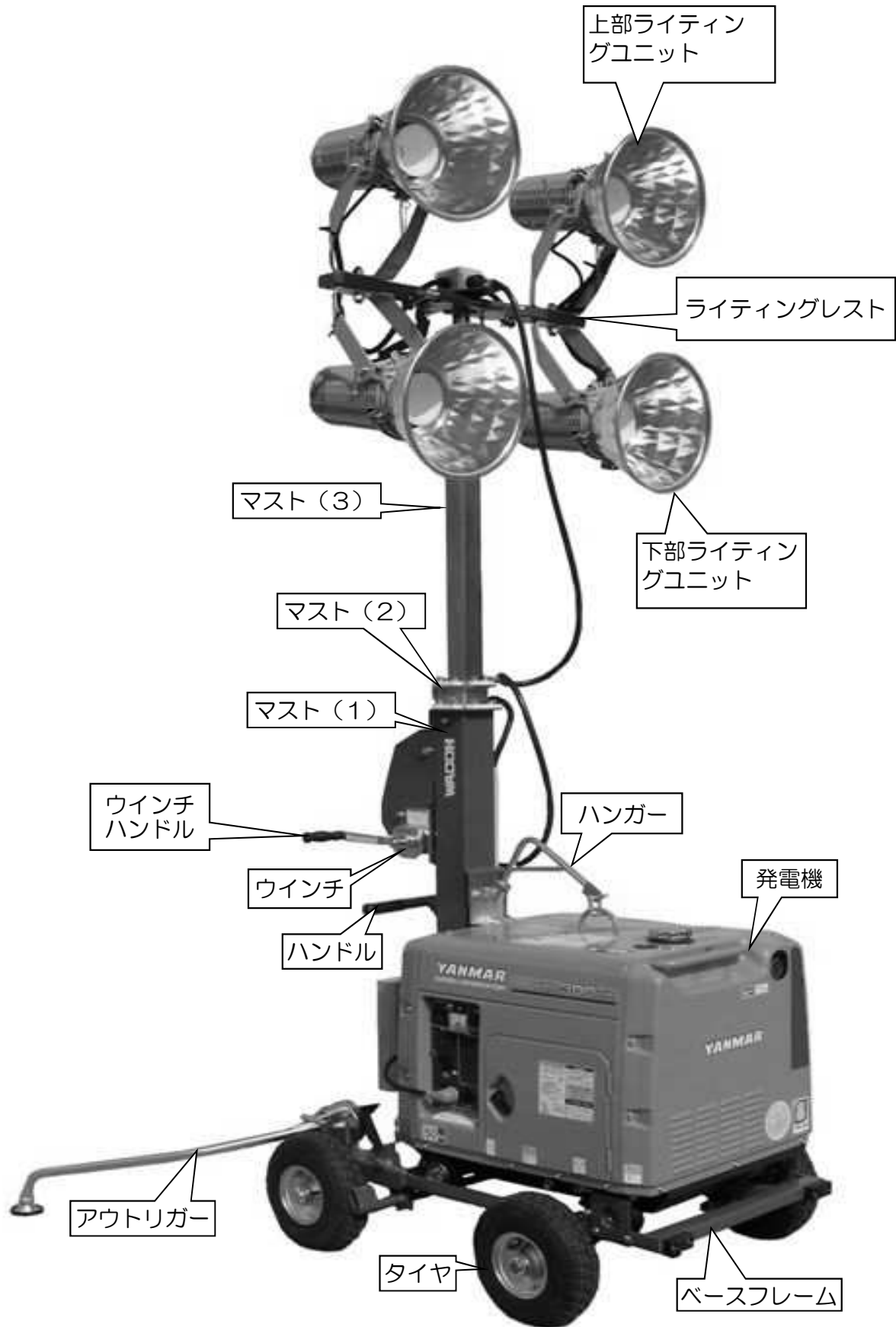
3. 外形寸法図

単位：mm

WL214WL-9



4. 各部の名称

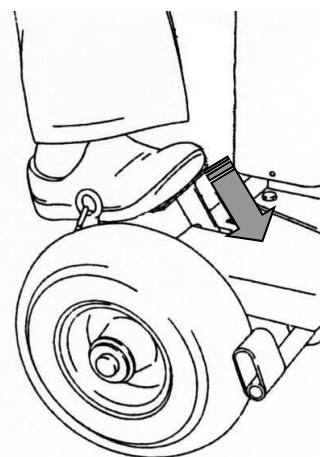


5. 発電機のセット

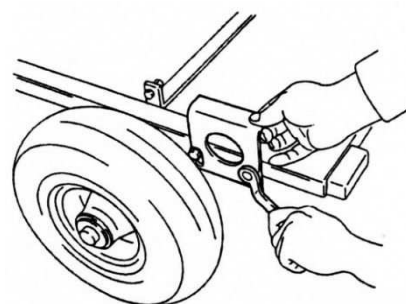
1) 発電機のセット

発電機取扱説明書に従い発電機を整備・点検後、投光機点検後、投光機の上に載せてください。

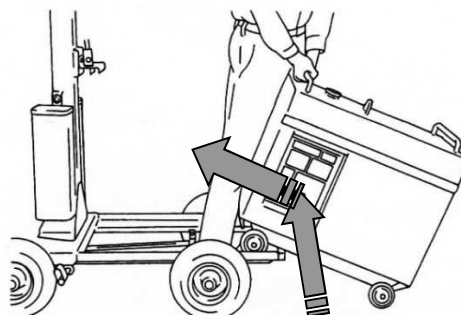
- (1) 台車が動かないようにブレーキをかけてください



- (2) 左右のストッパー（車輪押さえ）を外してください。

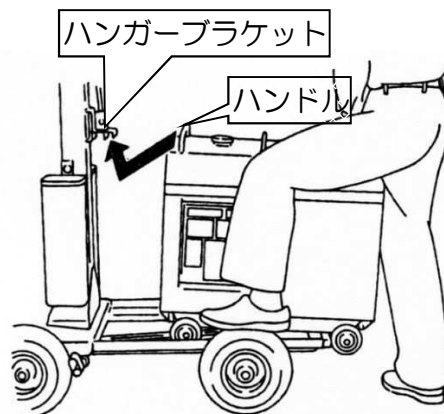


- (3) 発電機後部（燃料タンクキャップ側）のハンドルを持ち上げて後輪を載てください。

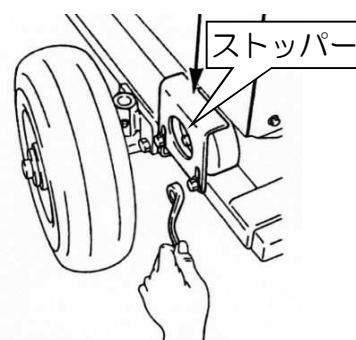


5. 発電機のセット

- (4) 発電機前部を持ち上げて、そのまま奥に押し入れ発電機のハンドルをハンガーブラケットに引っ掛けます。

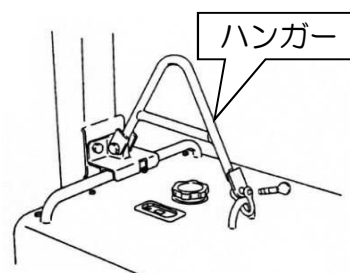


- (5) 発電機の車輪を台車に(1)で外したストッパーでしっかり固定します。



- (6) ハンガーを用いて、発電機本体とポールを固定し、コンセントに電源プラグを差し込む。(写真の位置に差し込んでください)

※電源プラグの差し込み方法については、発電機に付属の取扱説明書を参考願います。

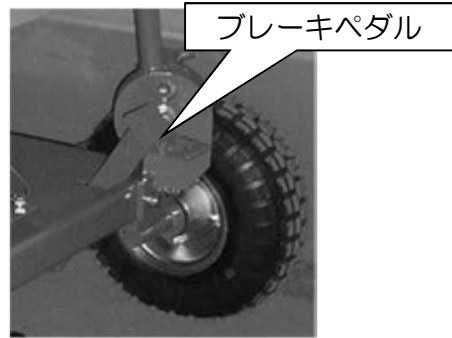


※写真:WL212WL-9

6. 設置および運転

1) ブレーキを踏み、投光機の車輪を固定します。

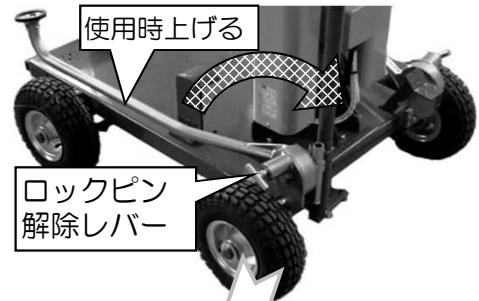
- (1) ブレーキ作動 … ペダルをいっばいに踏み込んだ状態で、ペダルを手前に引き込む。
- (2) ブレーキ解除 … ペダルを踏み込み、軽く前方にペダルを踏み込む。



2) アウトリガーを下げて固定します。

(1) アウトリガーのセット

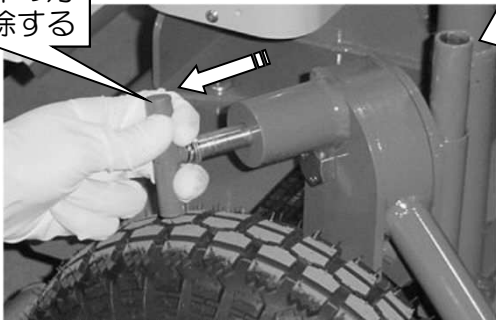
- ① ロック解除レバーを引く。
- ② アウトリガーを降ろす。
- ③ アウトリガーが動いたらレバーを放す。
- ④ アウトリガーが接地すると自動的に固定されます。



(2) アウトリガーの収納

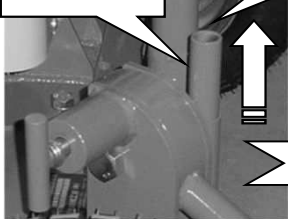
- ① ロック解除レバーを引く。
- ② アウトリガーを上げる。
- ③ アウトリガーが動いたらレバーを放す。

ロック解除レバーを矢印の方へ引き解除する



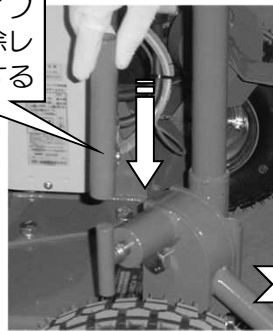
ロック解除レバーが作動しづらい場合、下記の手順でレバーを操作し解除してください。

アシストパイプを上方向に引き抜く



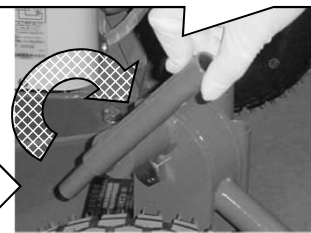
(1)

アシストパイプをロック解除レバーに挿入する



(2)

アシストパイプを右方向に回すことにより、ロック解除レバー操作が軽減されます

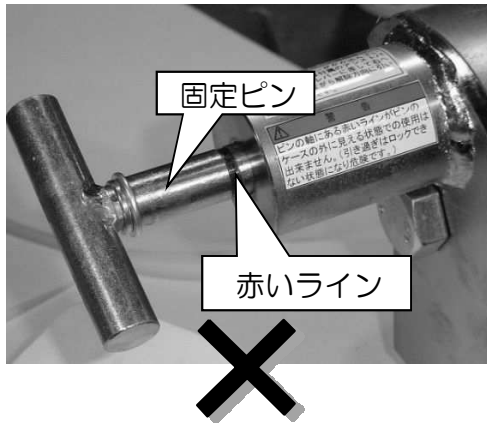


(3)

(3) アウトリガーロックピン操作上の注意

アウトリガーのロックピンは
赤いラインが見える位置で固定しては危険です。

ロックピンの軸にある赤いラインが見える位置での固定はロックされていない場合があり、大変危険ですので、絶対に使用しないで下さい。赤いラインが見えない位置で使用して下さい。



⚠ 警告

- 雨や雪の中では使用しないでください。
- 濡れた手で操作、水洗いはしないでください。
- 設置する時は建物、その他の設備から1 m以上離してください。
- 投光器具部が上昇する方向に、電線などの障害物がないことを確認してください。
- 投光機は水平で安全な場所に設置し、傾斜している所では使用しないでください。
- 地盤が軟らかく不安定な所では、投光機が傾かないように設置してください。
- 使用中および保管中は必ずブレーキをかけてください。
- 念のため、タイヤには輪止めをセットしてください。
- ご使用になるときはアースを取ってください。
- タイヤの空気圧は規定の圧力にしてお使いください。（標準空気圧：196.2 kPa）

マストの昇降について

- 投光器具が上がっている状態で、投光機を傾斜させたり移動させないでください。
- 移動させる時は、必ず投光器具を下げてから移動してください。
- マスト昇降の際は、ウィンチ真正面に向かって右手でハンドルを回してください。
- 操作する人以外は本機に近づかないでください。
- 必ずヘルメットを着用してください。

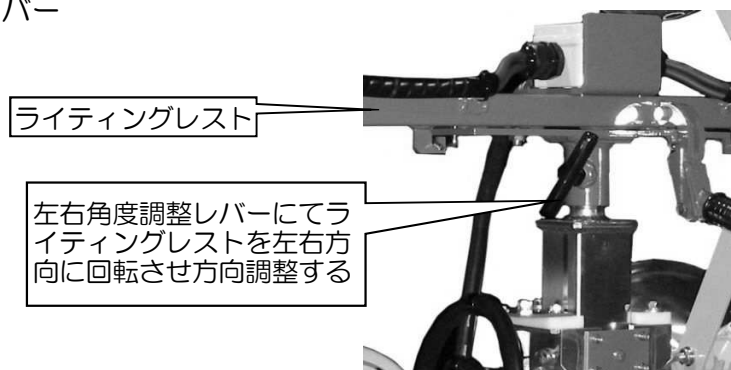
マストを上昇させる前に下記の項目を確認してください。

- ワイヤの端が、しっかりと巻き付いていますか？
- ワイヤによじれ、ほつれ等の損傷はないですか？
- ウィンチのハンドルの止め具（ナット）は、しっかりと締まっていますか？
- 電源コードに、引っかかりや絡みはないですか？

※ 万一、ワイヤが切れたりすると、マストが急降下して大変危険です。
よく点検してから、十分に注意して操作してください。

3) 作業面に照明が合うように投光器具の方向と角度を調整してください。

(1) 左右角度調整レバー

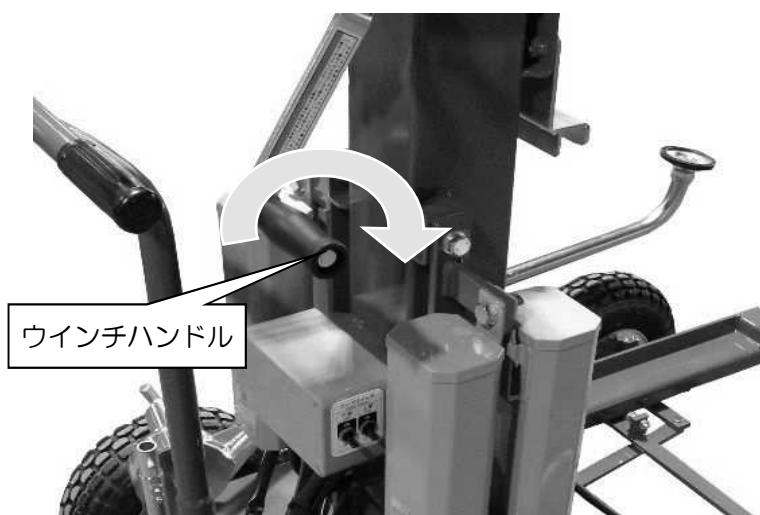


(2) 上下角度調整レバー



4) ウィンチを右回転で巻き上げ、マストを必要な高さまで上昇させる。
(手を離しても自動でブレーキが効きます)

⚠ 注意
万一、作業中にワイヤーが切れると大変危険です。ワイヤーのほつれ、かみ込み、外れ等を必ず点検してく

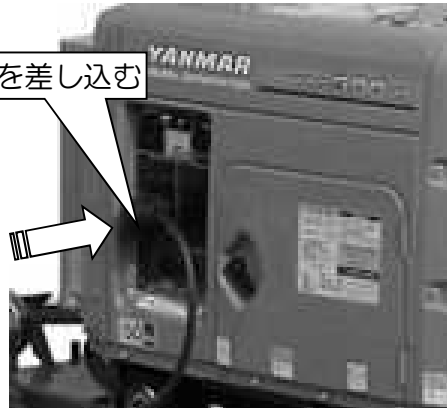


5) 点灯操作

(1) 投光機の電源用プラグをコンセントに差し込みます。

※ 発電機取扱説明書
参照願います。

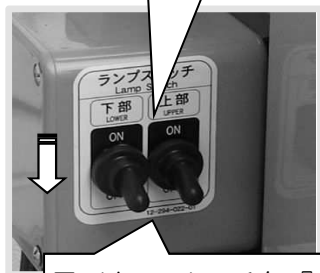
プラグを差し込む



(2) 発電機取扱説明書に従い、発電機を機動させます。

※ 発電機を始動する前に、投光機のスイッチを「OFF」にしておいてください。

投光機スイッチ



ライトスイッチを『OFF』にする

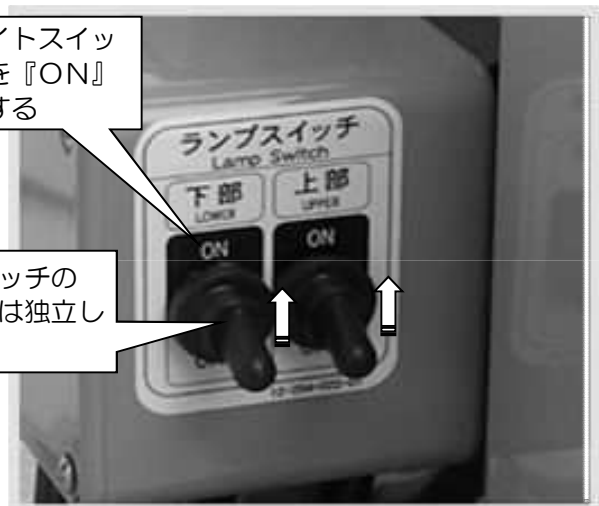


(3) 投光機のスイッチを「ON」にしてランプを点灯させてください。

※ 使用中、ランプを消灯させた場合、再点灯するのに15分以上かかることがあります。

ライトスイッチを『ON』にする

投光機のライトスイッチの『上面』と『下面』は独立して点灯操作できます



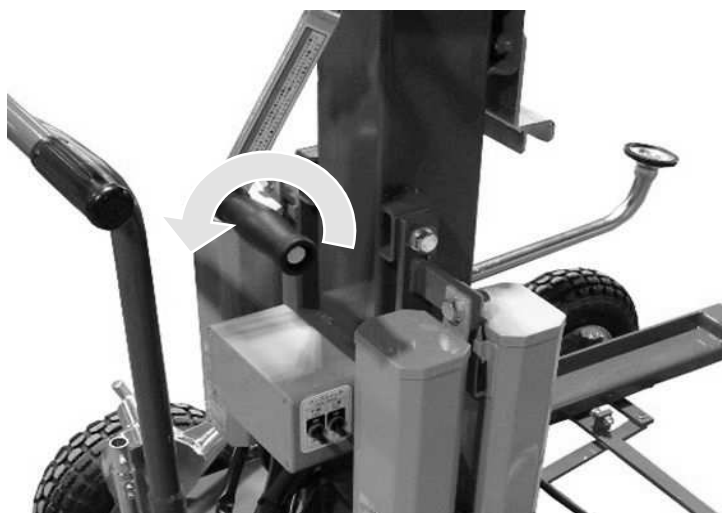
6) 運転停止

- (1) 投光機のスイッチを「OFF」にします。
- (2) 発電機を停止させます。
(発電機取扱説明書に従ってください)



- (3) ウィンチハンドルを左回転させ、マストを下げてください。

⚠ 注意
万一作業中にワイヤーが切れると大変危険です。ワイヤーのほつれ、かみ込み、外れ等を必ず点検してください。



7. よくある質問とその対応

よくある質問	確認場所	対応
ランプが点灯しない。 (ランプ関係)	発電機に投光器具以外で、大きな電流を使用する電気器具を接続していないか。	投光器具以外の機器の接続を外す。
	ランプが緩んでいないか。	ランプを確実にねじ込む。
	発電機のスイッチが『OFF』になっていないか。	スイッチを『ON』にする。
	結束部に外れているところはないか。	外れている所を修理する。
	発電機の電圧は正常か。 (無負可時'AC 94~106/188~256)	電圧を適正にする。 部品を交換する。
	ランプが熱いうちに再点灯しようとしていないか。	ランプが十分に冷えるまで待つ。
	商用電源に接続しても、症状が改善されない場合は、ランプ又は安定器の寿命が考えられます。	ランプ又は安定器を交換する。
ランプが短時間で、点灯しなくなる。 (ランプ関係)	周囲の温度は高くないか。 (周囲温度40° 以上)	設置場所を変える。 風通しを良くする。
	発電機の電圧は正常か。 (電圧が高くなっていないか、無負可で106又は256Vより高い場合)	電圧を適正にする。
	商用電源に接続しても、症状が改善されない場合は、ランプ又は安定器の寿命が考えられます。	ランプ又は安定器を交換する。
マストが上がらない。又は、下がらない。 (マスト関係)	マスト内部もしくは、ウィンチの不良と考えられます。	販売会社に問い合わせをしてください。

⚠ 注意

マストの分解は大変危険です。ケガのないように十分注意してください。

